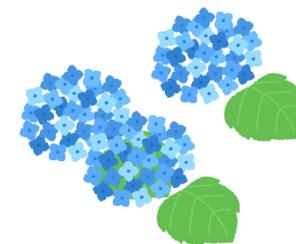


6月



図書だより

令和5年6月14日発行
徳之島高校図書室
第3号



雨にまつわる本いろいろ

徳之島も梅雨入りし、早くも台風までやってきました。「晴耕雨読」という言葉にもあるように、雨の日は読書で悠々自適な生活をするのもいいかもしれませんね。

さて、もうすぐ文化祭ですね。図書委員会では「四季」をテーマに、図書委員がその季節にオススメの本をPOPで紹介する展示をします。コンテスト形式にしますので、良いと思う番号を1つ書いて、投票してくださいね。図書委員オリジナルのしおりも展示しますので、ぜひご覧ください。

『この恋は世界でいちばん 美しい雨』 宇山佳佑

ある雨の日、事故に遭う二人。目を覚ました彼らの前に“案内人”が現れて…。

この時期にぴったりの感動的なラブストーリー。泣ける一冊です。

雨の描写も美しく、雨に対する価値観がかわるかもしれません。



『雨の名前』 高橋順子

雨の名称を集めた歳時記。「青時雨」「雨濯」など、四季折々の雨の名前がたくさん！その数の多さと豊かさに、日本語の素晴らしさを感じずにはられない。

『死神の精度』 伊坂幸太郎

クールでどこか奇妙な死神、千葉が会う6つの人生…。読了後、雨が降っていると、ふと千葉がいるのではと探したくなってしまいかも。短編集なので、伊坂作品をよんだことのない人にもおすすめです。

『小説 言の葉の庭』 新海誠

雨の朝、静かな庭で出会ったふたりは、迷いながらも前に進もうとする。雨と緑に彩られた一夏を描く。

「君の名は。」「天気の子」で知られる新海誠監督がアニメーション映画を自ら小説化。

『蒼空時雨』 綾崎隼

偶然の「雨宿りから始まる、切ない恋物語。巧妙に張り巡らされた伏線が、いくつも折り重なったエピソードで紐解かれる。



新刊配架!



お待たせしました! 面白そうな本がたくさん入りましたよ。チェックしてみてくださいね。

- ・『ゴリラ裁判』 須藤古都離
- ・『はじめての』 島本理生他
(★4人の直木賞作家が YOASOBI とコラボレーション!)
- ・『魔女と過ごした七日間』 東野圭吾
(★記念すべき著者 100 冊目! ラプラスの魔女シリーズ第3弾)
- ・『黄色い家』 川上未映子
- ・『愛するよりも愛したい令和言葉・奈良弁で訳した万葉集』 佐々木良
- ・『こんな日のきみには花が似合う』 蒼井ブルー
- ・『恋とそれとあと全部』 住野よる
- ・『街とその不確かな壁』 村上春樹 (★待望の新作!)
- ・『成瀬は天下を取りにいく』 宮島未奈
- ・『世界のへんな研究』 五十嵐杏南
- ・『荒地の家族』 佐藤厚志 (★芥川賞受賞作)
- ・『この世の喜びよ』 井戸川射子 (★芥川賞受賞作)
- ・『モノクロの夏に帰る』 額賀滯
- ・『ひとりぼっちじゃない』 伊藤ちひろ
- ・『スクロール』 橋爪駿輝 (★北村匠海、中川大志主演で映画化)

朝読書が始まりました



*8:30 ~ 8:40 (原則火~金曜日)

6月7日(水)より朝読書が始まりました。静かに読書しましょう。

本の準備はできていますか? 図書室で借りたり、学級文庫を利用しましょう。

読みたい本を読もう! (漫画、雑誌、教科書は除く)。

図書室では読書相談にも応じます。何を読めばいいのか悩む時は気軽に図書室を利用して下さい。



朝読書四原則

「みんなでやる 毎日十分間

好きな本を読む ただ読むだけ」

